

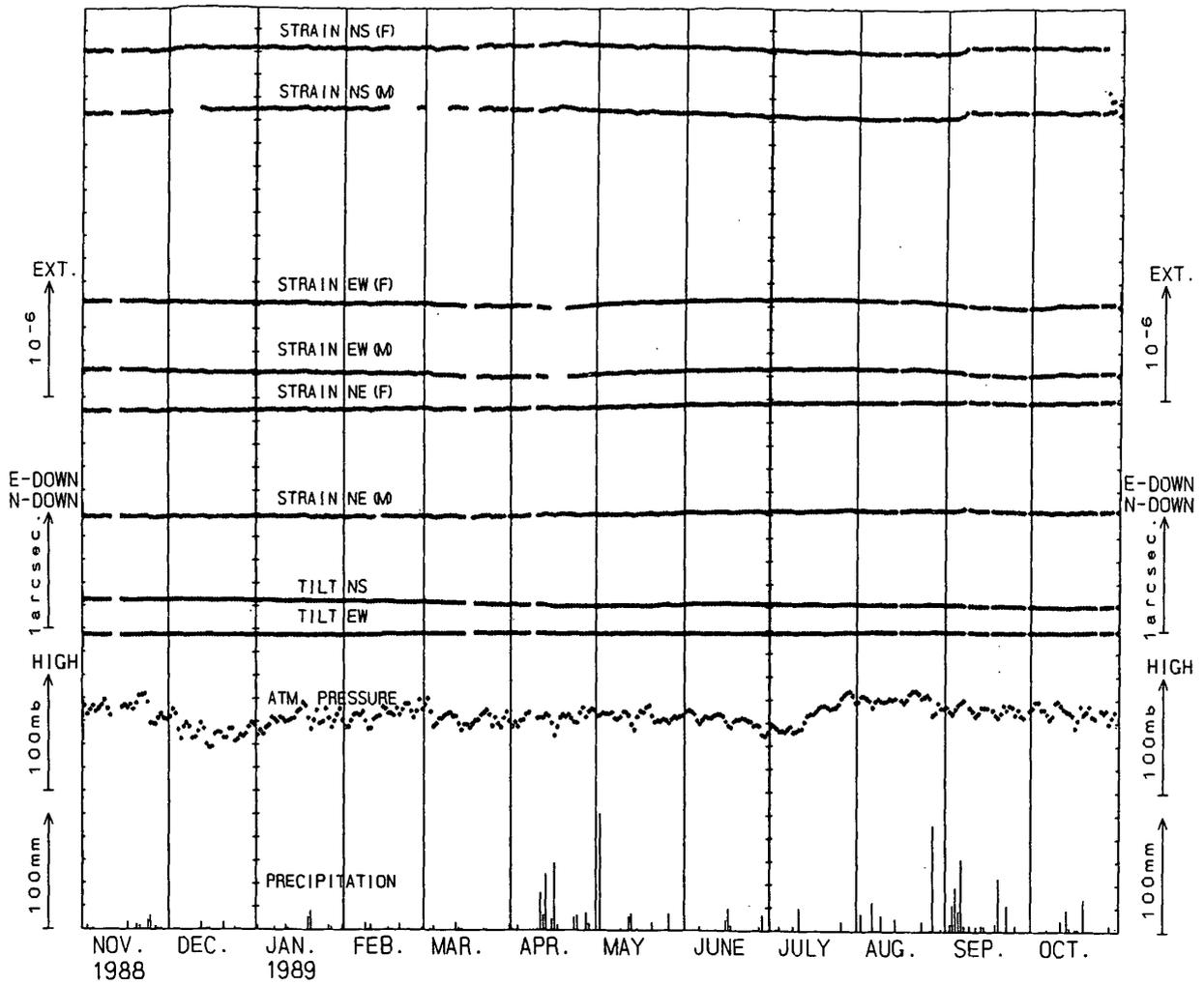
2-5 江刺における地殻変動連続観測

Continuous Observations of Crustal Movements at the Esashi Earth Tides Station

国立天文台水沢

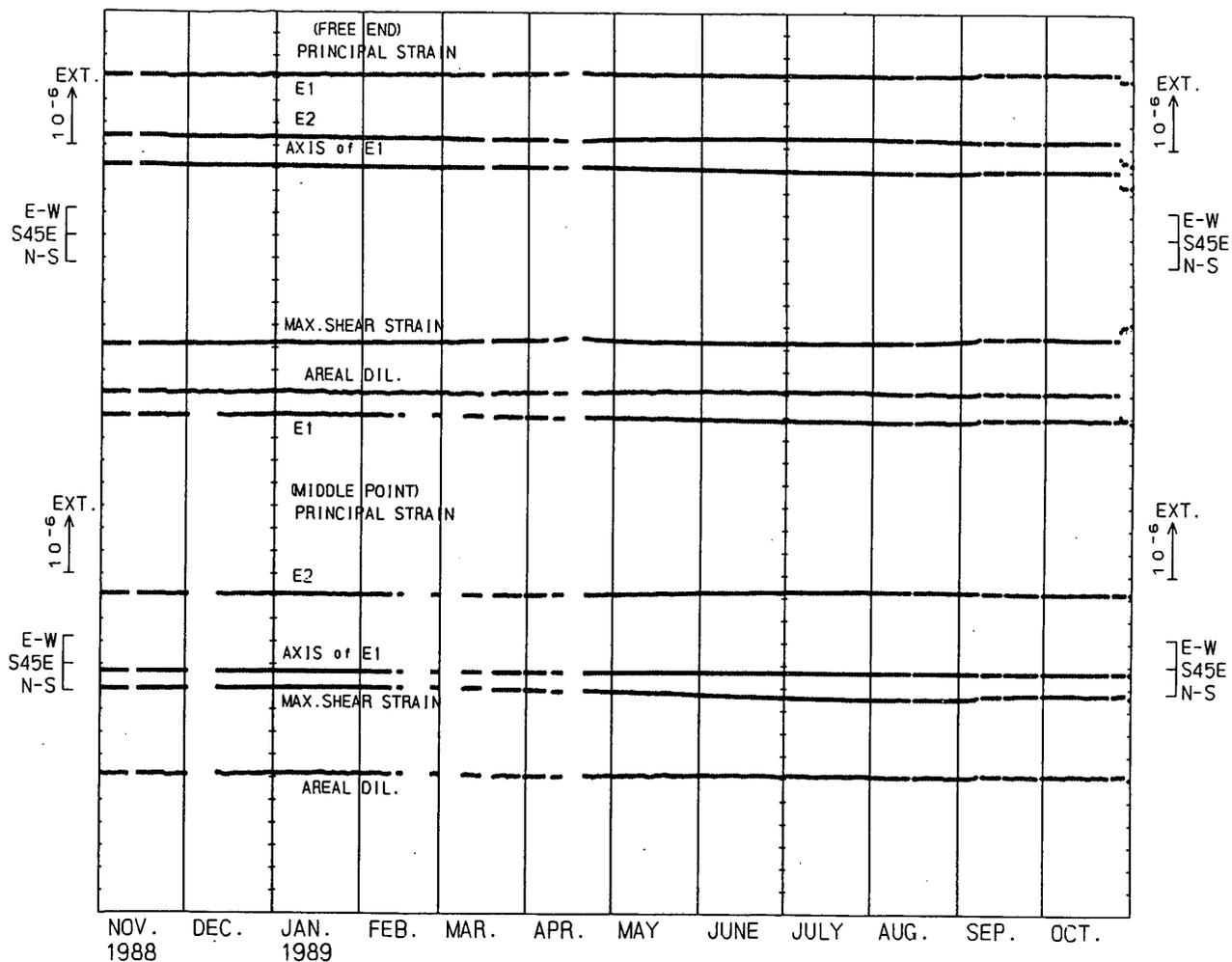
National Astronomical Observatory, Mizusawa

国立天文台水沢観測センターの江刺地球潮汐観測施設において1989年10月までに得られた地殻変動連続観測結果を報告する。観測機器とその配置は前報（予知連会報42巻，P. 66）を参照されたい。ここに示すデータはすべて日平均値であり，第1-3図は最近の1年間，第4図は施設開設以来の変動を示している。1989年9月8日の落雷による欠測の直前には各成分に変化が認められるが，その原因は不明である。また，10月末の三陸沖の地震活動は，事前計画に基づく坑内作業と時期が重なったため，一部の成分にみられる異常はそのまま自然現象をあらわすものではない。最近1年間は，従来にひきつづきいずれの成分も静穏に経過した。



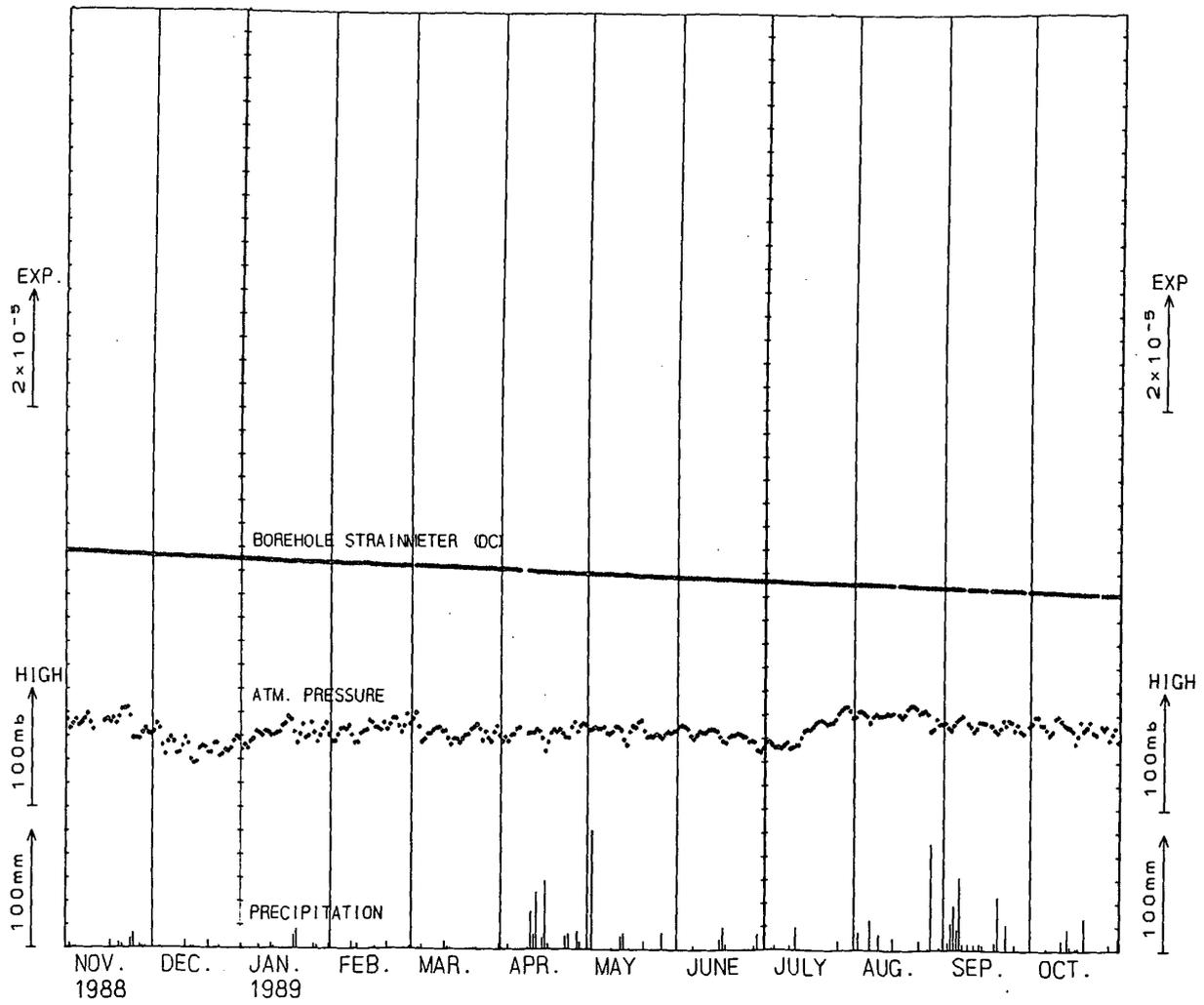
第1図 江刺地球潮汐観測施設における地盤の歪及び傾斜

Fig. 1 Daily means of observed ground tilt and strain with water-tube tiltmeters and quartz-tube extensometers.



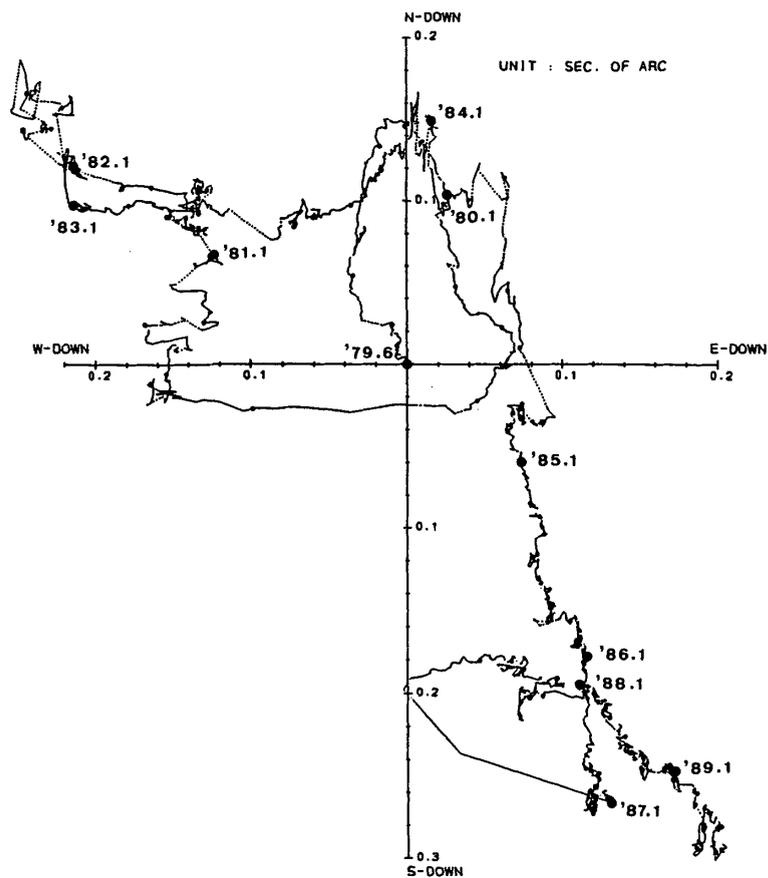
第 2 図 主歪、最大剪断歪及び面積歪

Fig. 2 Daily means of derived principal strain, maximum shear strain and areal dilatation.



第3図 ボアホール歪計による地盤の体積歪

Fig. 3 Daily means of volumetric strain with a borehole strainmeter.



第 4 図 地盤傾斜の経年変化

Fig. 4 Secular tilting motion since 1979.